

すぎのこ



「ツマグロヒヨウモンチヨウ」から 本園の教育保育を考える(その二)

先日、来年度園児募集のポスター作成検討を行いました。まだ検討の段階ですが、園庭での焼き芋に参加する園児が空を見上げてい

先日、来年度園児募集のポスター作成検討を行いました。まだ検討の段階ですが、園庭での焼き芋に参加する園児が空を見上げてい

るといふ写真をメインにしたくないと考えています。これまでポスターのタイトルは担当者で発案検討することが多かったのですが、今回は職員に写真にふさわしいタイトル

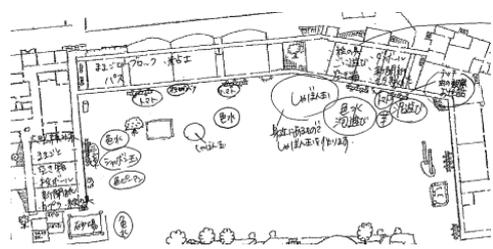
職員は意図もなく園児を「自然の中」「」の言葉は職員案の言葉の引用)に放っているのではありません。「遊びは学び」です。

遊びは学び 幼児期に 豊かな経験を
わくわくの先に やりたいが 見つかる
ウキウキワクワクが 生きる力を育てる
毎日が冒険！ 遊びの楽園へようこそ
見て 触れて 感じて 育つ
遊びを通じて、世界を発見
自然の中で ととのう
豊かな緑にかこまれて あふれる笑顔で すくすくと
元気いっぱい 笑顔いっぱい 自然もいっぱい
しあわせ集まる しょうけいこどもえん
木のあたたかさ 緑のゆたかさ たのしいよ
しあわせの芽 どんどん のびていけ
みんな まんなか
(すべては)未来ある子どもたちのために！

職員は意図もなく園児を「自然の中」「」の言葉は職員案の言葉の引用)に放っているのではありません。「遊びは学び」です。

右下の写真は園で採れたヒーマンを数えている写真です。小学校になればすぐ数え棒やおはじきを使って数を数えます。「本物が複数並んで

右下の写真は竹馬に熱中して、片足で乗れるようになった年長さんの様子です。竹馬に興味を強く持ち、熱中しているうちに新たな「世界を発見」したのでしよう。まさしく「わくわくの先にやりたい



ツマグロヒヨウモンチヨウの劇的な変化を目の当たりにし、その美しさを実感した園児はたくさん感動し、人生は面白いものだと思い、前向きな人生を送ってくれることだと信じて頑張っ

を考えたもりました。たくさん職員の

実物の数を比べたり数えたりする経



好きなことを突き詰めていきます。だからと言って他の活動をしないわけはありません。

前回、ツマグロを通して環境の大切さをお伝えしましたが、将棋の羽生元七冠も「集中力がある子に育てようとするのではなく、本当に好きなこと、興味を持てること、打ち込めるものが見つけれられる環境を与えてやるのが大切だ。逆に、興味のないことには集中できない。誰でも自分が集中できる型を自然に作っているはずだ。」とおっしゃっています。

いる経験をしているでし「よっ」という前提があつて問題ができています。

が見つかった姿だと思



人生を送ってほしいという職員の願いがあります。「しあわせ集まる」「しあわせの芽」「生きる力」「まんなか」「未来ある子どもたち」...これらは表現こそ違えども園の体験を通してたくましく前向きに生き抜いてほしい。その先に園児の幸せがあるに違いないという思いの現れです。